

孫の手事業が好評です！

杉並区シルバー人材センターが、平成25年1月にスタートした「孫の手事業」。シルバー人材センターの存在やサービス内容のPRを目的に、簡単な作業を無料で提供する事業を始めると、200件を超える依頼がありました。高齢化が進む中、高齢者どうしが助け合う制度は、今後も必要性が高まることが予想されます。一方、杉並清掃事務所の職員による高齢者や障害がある方の世帯を対象にした粗大ごみの運搬や蛍光灯の交換などのサービスも好評です。

25年1月、杉並区シルバー人材センターが始めた「孫の手事業」は、シルバー人材センターの公益社団法人としてふさわしい社会貢献事業(ボランティア活動)としてスタートしました。シルバー人材センターは、60歳以上の区民が自分の能力に合わせた仕事をすることで、いきがいをもってもらうとするもので、仕事をすることで仲間を得ることもできます。仕事としてサービスを提供するので、有料が原則です。しかし、孫の手事業は、60歳以上の単身者や高齢者のみの世帯を対象にしたもので、事業開始以来、無料で蛍光灯の交換やカーテンレール・すだれの取り外し、新聞・雑誌の梱包など30分で終了する作業を行い、200件を超える依頼に対応しました。

「孫の手事業」の登録会員数は、開始時369人でしたが、26年3月では449人に80人の増加となりました。区内全域で迅速な対応が出来るよう、高齢者によるちょっとしたお手伝いの輪が広がっています。また、この事業をきっかけにシルバー人材センターを知った方もあり、シルバー人材センターへの仕事の依頼も、少しずつ増えています。高齢化が急速に進む中、高齢者が高齢者のために作業を行うこのようなしくみは、今後も必要性が高まることが予想されます。シルバー人材センターでは、「多くの方々に会員になってもらい、人のため地域のために、働く事で元気を保ってほしい」と話していました。

また、杉並清掃事務所が平成12年から行っているのが、「ふれあい収集」です。自らごみ集積所にごみ出しができない高齢者や障害のある方で、事前に登録している1,360世帯を対象に、清掃職員が玄関先までごみを受け取りに行きます。この事業を通して、利用者が元気なのか安否の確認にもなっています。このサービスを昨年8月からさらに拡大し、家具の移動、掃除機パック交換など150件を超える対応をしました。

それぞれのサービスは、核家族化が進む中、高齢者などが自ら処理できず、また専門業者にも頼みにくいような内容で、何カ月も我慢をしてきた場合もあるようで、利用者からは感謝の声が数多く寄せられています。

